



特集 夏、大きな体験!

# 子どもたちの夏休み研修

## 自然の美しさ、平和の大切さを実感! 沖縄までの旅

いちやりば  
ちよーでー!!  
(みんな兄弟!!)



読谷村の子どもたちと一緒に帽子をかぶっているのがいいってっ子

- ①美ら海水族館のジンベエザメの水槽の前で。想像以上の大きさにびっくり!
- ②沖縄の郷土料理の沖縄そば打ちを体験。「まーさんやっさー(おいしいね)！」
- ③「エンヤーサーサー」の掛け声とともに、伝統芸能のエイサーを読谷村の子どもたちと踊るいいってっ子
- ④アメリカ空軍の嘉手納基地で、空軍のユニフォームを試着
- ⑤チビチリガマの前で説明を受ける子どもたち

中に沖縄の人たちは、そんなガマの中に何日もいて、大変な思いをしたことが分かった」と沖縄の歴史を学び取っていました。

小学6年生を沖縄へ派遣する「沖縄までの旅」は、今年で4回目。草野・飯樋・白石小学校から34人と村外の小学校へ転校した14人の、合わせて48人が参加しました。この研修では、命と平和の大切さ、自然の素晴らしさ・大切さを学ぶこと、沖縄の人々との感動を共有することが目的です。

3泊4日で実施した今回の旅では、国内で最大の地上戦が行われた沖縄本島で、集団自決を行った悲惨な歴史を持つチビチリガマと、避難者のほとんどが助かったシムクガマを見学し、平和の尊さを学びました。

このほかにも、ジンベエザメやナンヨウマンタを飼育する美ら海水族館の見学や海水浴を楽しみ、沖縄の自然を体験しました。また、読谷村の子どもたちと「バーベキュー」をしたり、元の演舞「エイサー」を踊ったりするなど交流を深めました。

参加した児童は「ガマという洞窟に入った時、暗くて怖かった。戦争